



すが や たいせい ふ どうみょうおう みず
菅谷大聖不動明王の水

山形市大字門伝



〔管理者〕 高野善和〔保全団体〕 高野善和ほか

ポイント

山形市西部、県民の森の山際にある不動尊の傍らでは川のせせらぎが響き、清涼感のある水が勢いよく湧き出ている。この水は、眼病を治す御利益があると伝えられている。5月13日の「白鷹山虚空蔵尊祭礼」の日には、旗を揚げてにぎやかに祭りが行われる。

菅谷大聖不動明王は、新潟県新発田市にある菅谷不動尊から分祀され、明治31年頃に建立されたとの由来がある。また、近くを古い街道（＝狐越街道（慶長5年（1600年）の「東北の関ヶ原・慶長出羽合戦」にまつわる歴史的な街道））が通っており、少し行けば「長谷堂城址」、「畑谷城址」などの史跡を見ることができる。



アクセス (北緯38.229750°、東経140.204833°)

山形市街地から県道17号線で県民の森方面を目指す。山道の途中、「山形市・少年自然の家」の案内標識のあるY字路を左折し、500mほど進むと「大平3km」の標識が見えてくる。そこを左折して1kmほど直進すると右側斜面に湧水がある。

